

令和4年7月

保護者の皆様

二宮町教育委員会  
教育長 森 英夫

### 二宮町施設分離型小中一貫教育校の開設について

保護者の皆様におかれましては、日頃から二宮町の学校教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

二宮町教育委員会では、町内の子どもたちの人数が年々減少していく中、郷土を愛し、誰一人取り残されない集団づくりを構築していくため、遅くとも概ね20年後の2040年までに、施設一体型の小中一貫教育校を設置することを目指しています。この長期的な見通しの中で、今はできることから始めていく段階として、令和5年度に施設分離型小中一貫教育校を開設します。現在、校長、教頭、教育委員会で準備委員会を立ち上げ、検討を進めているところです。

施設分離型小中一貫教育校については、現在の学校配置はそのままですが、町全体の小・中学校を1つの学園として捉え、小中5校が連携して、小学校と中学校のつながりを意識した教育活動に取り組むものです。現在も、子どもたちが主体的・対話的で深い学びができるよう、話し合いの授業方法を取り入れた研究を進めています。これにより、二宮町のどの小中学校でも、指導法に共通性と一貫性をもって、9年間を見通したカリキュラムで授業が展開できるようになります。

つきましては、現在準備委員会で決まったことや、検討していることを保護者の皆さまにお知らせいたします。今後は、教育委員会議で審議され、承認を得られれば正式決定となります。分離型小中一貫教育は、町内の小中学校をひとつの学園として捉え、学校間の連携を強めていく取組であり、学校の配置や学区など、子ども、家庭、地域に影響のある変更は行いませんが、ご不安なことやご意見等がありましたら、教育委員会までご連絡いただくか、学校を通じてお聞かせください。

保護者の皆様には、引き続きご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

二宮町教育委員会教育部教育総務課  
電話：0463-75-9261（直通）

## 施設分離型小中一貫教育校 現時点の取組と準備委員会の検討状況

### 【すでに各学校で取り組んでいること】

- 小中5校で共通した授業指導法の実施
  - ・ 全員参加の授業方針に基づく、話し合い活動を重視した9年間一貫した指導法の実践
- 各教科つまずきやすい単元の指導法の研究
  - ・ 年間複数回、小学校と中学校の先生が、教科ごとに合同で研究会や研究授業を実施
- 小学校児童と中学校生徒の交流
  - ・ 進学前の学校見学、部活動見学会、特別支援級での交流授業などを実施

### 【令和5年度から始まることについて準備委員会で決定したこと】

- 学校開設
  - ・ 小中5校を1つの学園とする分離型小中一貫校開設
  - ・ 学園内で、2つのグループに分けて、小小間や小中間で交流等ができる取り組みを今後も検討し、実施していく
    - 【二宮中グループ】：二宮中学校と二宮小学校
    - 【二宮西中グループ】：二宮西中学校と山西小学校と一色小学校
    - ※一色小学校は、二宮中学校との交流を今後も継続していく
- 学園名の設定
  - ・ 学園名を『(仮称)にのみや学園』とする
  - ・ 学園名は通称として使用する (例)にのみや学園二宮町立二宮小学校
- 小中一貫教育目標
  - ・ 5校共通：「認め合い、高め合う、二宮の子」
- 一色小学校児童の進学先
  - ・ 原則、今まで通りとする。今後、検討の必要性が生ずることがあれば検討する
- 学年・学級・支援級の呼称
  - ・ 原則、今まで通りとする

※上記内容については、教育委員会議で審議され、承認を得られれば正式決定となります

### 【令和6年度以降に向けて検討していること】

- 学校運営協議会の持ち方
  - ・ 先進校等の視察等を踏まえて検討していく